

ビオトープだより第19号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。



特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会

切串小 学校林 ビオトープ自然体験学習会



報告 総務委員長・主席BA 梶岡 幹生

- ・日 時：2022年7月27日（水） 9:00～11:00
- ・場 所：広島県江田島市 古鷹山 学校林
- ・対 象：切串小学校6年生（10名） 引率の先生（1名）
- ・講 師：梶岡、清田、中川（3名）
- ・内 容：①「自然から学ぶ」「自然災害」
②「危険な生き物」「かぶれる木」
③ 学校林について
④ 学校林を散策しながら観察
⑤ 植物標本（簡易）を作ってみよう！



◆「自然から学ぶ」「観察するときに気を付けること」



「この靴の面ファスナーのように、自然からヒントを得てつくられたものがたくさんあります。」

いろいろなことに「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と疑問を持つことが大切です。

「自然災害が多いですが、自然を守れば自然が守ってくれます。自然を大切にしましょう！」

◆「散策するときに気を付けること」「学校林について」



「危険な生き物」「かぶれる木」
気を付けて観察しましょう！



「蜂などに刺されたときに、
毒を吸引する道具もあります。」



「この学校林では、自然の山と、
植林された人工の山の様子を
見ることができます。」

◆ 学校林を散策しながら観察



「ハゼノキです。かぶれる場合があるので注意してください。」



「6月に古鷹山ピオトープで見つけた大きなオニヤンマのヤゴは、この川で生まれ育ったヤゴだと思います。」



「オオバコです。」



開けた草地から山の中へ



「川の近くにはオニヤンマがいます。」



「実生のヒノキです。」



「実生のモミジもたくさん。」



「道の上側にはウラジロ、下側にはイノデ。」



「サルトリイバラ。広島県は柏の葉の代わりに、これで柏餅をつくります。」



「ヒノキの人工林です。」

◆ 植物標本（簡易）作り



「本来は、植物を挟んで乾燥させたものを植物標本にします。今回は順序逆ですが、植物標本の作り方について説明します。」



採取したヒノキで標本づくり



「ラベルを記入して貼り付けて完成！帰ったら新聞紙などに挟んで重しをして乾燥させてください。」